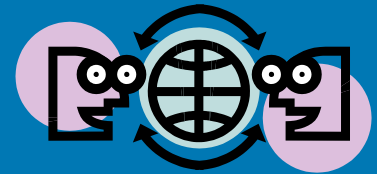




桐



大東文化学園教職員組合連合機関紙
2015年 8月7日発行 第1090号

大東文化学園教職員組合連合

〒175-8571 板橋区高島平1-9-1

tel/fax. 03-3935-9505



組合ホームページ

<http://www.boreas.dti.ne.jp/daito-un/>



Facebook
大東文化学園
教職員組合連合



Twitter
@daitounion

この号の内容

1 専任教員就業規則 制定について

二重の「困惑」の中で
―組合執行委員会の取り組みについて―

専任教員就業規則制定について

組合執行委員会は上記「専任『教員』就業規則案」が各学部教授会に報告されたこと、それに対する各学部教授会の反応を受けて、数回にわたり、長時間を費やして対応を協議いたしました。

議論百出で意見集約は簡単ではありませんでしたが、組合執行委員会（以下「組合」と略）の対応を以下のようにまとめることができました。

- ① 公式・非公式を問わず大学執行部と組合が接触を重ね、今回の規則制定に至った背景について十分な説明を求め、可能な限りそれを公開する。
- ② 別紙のようなアンケートによる意見聴取を事務職・教育職、専任・非専任の別なく後半に実施する。 当面はこの2点を中心に対応致します。

今回の規則訂正に対し組合は二つの「困惑」を感じました。一つは「現行規則の長所が失われるのでは？」というものです。現行規則は事務職・教育職双方について共通する部分（法定労働時間や休暇）を定める簡潔な構造で管理運営がしやすく、「事務職員と教育職員が「車の両輪」となって大学改革を推進する」という今日のあるべき大学運営のスタイルにも合っています。所定内労働時間が43時間になっているなど現状に合わない部分の改正は当然のことですが、事務職・教育職で別々の規則を作り、内容も細かい部分に立ち入りすぎると、却って規則管理が難しくなり、関連法制の変更に合わせた対応がさらに難しくなると思われます。労働量の評価については、教育職員は裁量労働制になじむ部分が大きく、事務職は時間数で評価しやすいのは当然ですから、現行の制度でも事務職は36協定で対応し、教育職は責任コマや増コマに関して管理職（例えば学部長）の共通理解のもとに運営されており、この体制を充実させれば十分ではないでしょうか？

二つ目の「困惑」は「規則制定は教育職員（教員）のモラル・パフォーマンス向上に逆効果では？」というものです。パワハラ、アカハラの事例を挙げるまでもなく、学生・保護者・事務職員の皆様が教育職員のモラルや研究・教育におけるパフォーマンスに対し強い不満をお持ちのことも事実ですが、規則の網で管理しようとすれば「網抜け」が横行し、却ってモラルやパフォーマンスの低下が進みませんか？
(次頁へ続く)

目次

- | | | | |
|----|----------------|-------|----|
| 1、 | 専任教員就業規則制定について | | P1 |
| 2、 | アンケートのお願い | | P2 |

（前頁から続く）

モラル向上を目指すのであれば、まず「憲章」のようなもので一部の良心的な教育職員を活性化し、「悪い」者を「こらしめる」のは既存の懲罰委員会（教育職員の懲罰も教授会の手を離れました）の活動強化に期待しましょう。「教員にふさわしくない者の採用防止」は任免規則の見直し、メンタルヘルスチェックなど新たな健康管理のニーズに対しては、これも既設の安全衛生委員会を中心に規定の整備を進め方が効率的と思われるが？
（文責：書記長 兵頭圭介）

ご意見をお寄せ下さい

前項でも述べましたが、今回の専任教員就業規則制定に関して皆様から広くご意見を頂きたく存じます。別添のとおりアンケート用紙を準備いたしましたのでご記入の上、返信用封筒に封入の上ご投函（料金別納のため切手不要です）頂ければ組合の方で集計いたします。たくさんお書きになる場合は裏面もご利用ください。さらに用紙が必要な場合は、恐れ入りますが各自でご用意ください。

締切は8月31日です。
匿名でお受けいたします。

添付ファイルによるメールでの投稿もお受けいたします。
事務作業（データ入力）の都合からは、メール投稿がありがたいのですが、匿名性確保やハッキングの危険予防等で問題がないわけではありませんので、「どうしてもメールで」という方のみご利用ください。

アドレスは以下のとおりです。
daito-un@boreas.dti.ne.jp

組合版『舟を編む』③

団交【だんこう】 団体交渉の略称。
組合の執行委員会に入れられると真っ先に覚えさせられる組合用語である（らしい）。冷静さを装って敬語を過剰に使いながら相手の痛いところを突く、といった「タヌキ爺（またはタヌキ婆）」的な能力が必須である（らしい）。某国総理大臣のような未成熟且つ幼稚な人格をもった者が交渉に臨めば「交渉」どころか「断交」になってしまうのがオチである。東京地区私立大学教職員組合連合の代表者会議では、主として経営側の度量の狭さが原因で「断交状態」になった事例がいくつも紹介される。代表者会議は組合員であれば誰でも参加できるので執行部でない組合員の方も、後学のために一度は参加されることをお勧めする。

本紙は大学組合webサイト

http:
[//www.boreas.dti.ne.jp/daito-un/](http://www.boreas.dti.ne.jp/daito-un/)
にも

掲載しています。

本紙へのご投稿、ご意見、ご質問は
daito-un@boreas.dti.ne.jp
にお寄せください。